

国の機関等による向こう5年間の国際会議等の北海道開催計画  
(平成31(令和1)～令和5年度)

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
1	R1	2019年IEEE回路とシステムに関する国際会議	米国電気電子学会回路とシステムソサイエティ、日本学術会議	令和元年 5月26日～29日	札幌市	「デジタル回路と信号処理システム」「ナノエレクトロニクスおよびハイブリッド集積システム」「ニューラルネットワークと脳型コンピューティング」「アナログおよびミックスド・シグナル回路」「非線形システムと回路理論」等を主要題目とした会議。	1,200名程度
2	R1	G20観光大臣会合高級実務者級会合	観光庁	令和元年 5月24日	倶知安町	G20観光大臣会合において建設的、かつ効果的な議論を行うため、各国の関心事項の収集及びG20観光大臣会合のテーマ等に対する日本側の考え方について議論を行うもの。	60名程度
3	R1	「持続可能な観光による地方創生」国際シンポジウム	観光庁、倶知安町	令和元年 5月24日	倶知安町	G20観光大臣会合開催への理解、会合開催後によるレガシー効果を視野に、観光への取組の意義について普及促進を図る。	600名程度
4	R1	第18回新芳香族化学国際会議	公益社団法人日本化学会及び基礎有機化学会、日本学術会議	令和元年 7月21日～26日	札幌市	「新規芳香族化合物の電子状態の解明」「外部刺激に可逆的に応答する芳香族化合物」「超分子や分子マシンによる新規な物性の発現」「太陽電池や有機トランジスタなどに関する有機材料化学」等を主要題目とした会議。	650名程度
5	R1	第8回日中韓人事行政ネットワーク・トップ会談	人事院	令和元年 9月5日	札幌市	日中韓の中央人事行政機関の長による閣僚級会談。	30名程度
6	R1	将来の課題のための日オーストリア委員会第23回会合	外務省	令和元年 9月6日、7日	旭川	日・オーストリアの委員間で両国に共通する幅広いテーマについて意見交換するとともに、一般聴衆を交えた公開シンポジウムを同時開催	220名程度
7	R1	G20観光大臣会合高級実務者級会合	観光庁	令和元年 10月25日	倶知安町	G20観光大臣会合において建設的、かつ効果的な議論を行うため、G20観光大臣会合のテーマやディスカッション方針等に対する日本側の考え方について議論を行うもの。	60名程度
8	R1	G20観光大臣会合	観光庁	令和元年 10月26日	倶知安町	G20国間の相互協力を強化するため、世界経済の持続可能な成長に対する観光の重要性をアピールするとともに、雇用、旅行円滑化、持続可能な観光等観光分野の世界的な課題について議論を行うもの。	200名程度
9	R1	第7回中小企業協力に関する日露会合	中小企業庁	令和元年 12月4日	札幌市	ロシア経済発展省と毎年行っている中小企業分野に関する政策対話及び両国中小企業間のマッチングイベント。	100～150名程度 (予定)

	年度	会議名	主催者	開催時期	開催場所	会議の概要	参加人数
10	R2	「北太平洋潮河性魚類委員会 (NPAFC) 第28回 年次会合」	NPAFC (北太平洋潮河性魚類委員会) 事務局、水産庁	令和2年 5月18日～22日	函館市	条約水域 (北緯33度以北の北太平洋の公海) における潮河性魚類の保存を目的とし年1回我が国を含む、各条約締約国が持ち回りで開催し、条約水域内における取締活動や科学調査協力について協議。	200名程度 (予定)
11	R2	2020年世界蛋白質科学会議	一般社団法人日本蛋白質科学会、蛋白質科学会及びアジア太平洋蛋白質科学協会、日本学術会議	令和2年 7月5日～10日	札幌市	「クライオ電顕とX線自由レーザーの協奏：構造生物学の新たな時代」「単一細胞レベルの分解能で見る染色体構造の動的変化」「ヒト個人ゲノム解析と展望」等を主要題目とした会議。	1300名程度 (予定)
12	R2	第29回低温物理学国際会議	第29回低温物理学国際会議組織委員会、一般社団法人日本物理学会、日本学術会議	令和2年 8月15日～22日	札幌市	「量子気体、液体及び固体」「超伝導」「磁性および量子相」「ナノ物理学と量子情報」「低温技術とデバイス応用」等を主要題目とした会議。	1500名程度 (予定)
13	R2	第18回日ASEAN次官級交通政策会合	国土交通省	令和2年夏	北海道札幌市及びその近郊	「日ASEAN交通連携」に基づき、日本とASEANとの間の交通分野の連携を強化するため、高級実務者 (次官級) による会合を開催。同会合では、交通分野の協力案件の進捗状況の確認および新規案件の提案を行う予定。	60名程度 (予定)
14	R2	2020年国際共同シンポジウム	(国研) 土木研究所 寒地土木研究所、釜慶大学地質環境研究所 (韓国)	令和2年夏～ 秋	札幌市	日本及び韓国、台湾の地盤環境の調査及び評価手法に関する研究に携わる研究者の技術情報の交換を目的として開催。	40名 (予定)
15	R2	みなみまぐろ保存委員会 (CCSBT) 年次会合	CCSBT (みなみまぐろ保存委員会) 事務局、水産庁	令和2年夏～ 秋	北海道札幌市及びその近郊	みなみまぐろ保存委員会年次会合。ミナミマグロの総漁獲可能量及び割当について議論を行う。	60名 (予定)

※ このほか、向こう5年間 (令和元年度～令和5年度) に、北海道で開催する可能性のある国際会議等が8件ある。

出典：国土交通省北海道局調べ

注1：国の機関等とは、各省庁、地方支分部局、各省庁が所管する独立行政法人、特殊法人などのことを指す。

2：本資料の「国際会議等」は参加者総数10名以上、参加国数は日本を含む2カ国以上を対象としている。